



- 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の主な取組の一つである防災教育の促進について、滋賀県栗東市立葉山小学校と連携し防災教育に関する指導計画の作成に取り組んでいます。
- 今回は、指導計画に盛り込む内容や対象学年などを校長先生らと意見交換しました。
- 併せて、全校児童の避難を想定した避難場所や経路について、校舎内や屋上などを実際に確認し、課題点などを議論しました。

- 日時：平成30年5月23日（水）13:30～15:30
- 場所：栗東市立葉山小学校（滋賀県栗東市高野）
- 参加者：葉山小学校校長先生、教頭先生、教務担当(5・6年生)先生2名
琵琶湖河川事務所 調査課3名



【防災教育に対する意見】

- 子ども達だけでなく保護者や地域の方にも、防災について触れてもらえる仕組みや、浸水想定は、図面等ではわかりにくいので、浸水メータを貼るなど視覚的に解りやすくする工夫があると良い。
- 安全だと思いがちな野洲川でも、大規模な水災害が起こる可能性があるということを被害や工事の歴史も踏まえ、伝えるための資料などが有ると良い。
- 野洲川の河原など現地での授業は、河川への理解をより深められると思う。
- 浸水時の避難について、校舎の何階まで避難に使えるのか確認しておく必要がある。
- 学校が浸水した場合に備え、周辺の高層の民間施設などを把握しておくべきだと感じた。

【水防災意識社会再構築】大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、自ら行動し、地域の防災力を高め、社会経済被害を最小化するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。

【問合せ先】国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課

☎520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0867



来年2019年は
野洲川放水路通水40年！